

会員と千葉県連盟をつなぐ

ちばニュース

2022年 4月号



千葉県勤労者山岳連盟

Chiba Workers Alpine Federation

2022年 4月 1日発行 通巻348号

重大事故が頻発しています
安全対策を十分にして春山を楽しもう

4月号目次

・ 目 次	2
・ 千葉県連盟定時総会報告	3
・ 2月理事会報告	7
・ 3月理事会報告	9
・ 2022登山講習会案内	15
・ 定時総会代議員感想	16
・ 山の日記念講演会案内	18
・ 4月5月予定表	19

表 紙 写 真

今月号は、海外委員会・酒井荘多さん（船橋勤労者山の会）
にお願いしました。

写真は、2019年4月29日・登頂のネーパール・パルチャモ
（6200m）のハイキャンプからのワンシーンです。
パルチャモは、エベレスト街道・ナムチャバザールから左に行き
ターメの先にあります。メラピーク・アイランドピーク・ピサン
ピーク等と日本人には人気の山です。

——編集者——

千葉県連勤労者山岳連盟

第 56 期（2022 年度）57 期（2023 年度）定時総会報告

作成者 深草 県連理事（岳人あびこ）

- ・日時 2022 年 3 月 5 日（土） 13:05～15:10
- ・会場 ZOOM 利用によるオンライン総会
- ・司会 鶴田副理事長（ちば山の会）

【議事】

- ・総会資格審査報告 代議員総数 27 名：出席者 24 名、委任状 3 名
審査委員：安彦海外委員長より、総会成立報告
- ・議長・書記選出 議長：吉武理事（かがりび山の会）
書記：深草理事（岳人あびこ）
- ・会長 挨拶

今年度の総会は、コロナ禍の影響を考慮して、理事会の総意により、規約第 14 条に基づきオンラインでの実施を選択した。オンラインでの総会開催に当たっては、開催手続きに関する多数のご意見を頂いた。今後実施後の反省も踏まえ、規約改正を視野に入れてオンライン総会の運営に関する検討を進めたい。

コロナ禍の影響の中で、会活動はどうなるのか、山行はどうするのか、今までとは違った厳しい選択が必要になっている。千葉県連盟にとって重要な時期に開催される総会となる。この難局を、会員の皆さんと協力して、乗り切って行きたいと考える。

長年不在だった理事長に昨年度から、野田さんに就任していただいた。なれないポジションで大変だったと思うが、引き続きのご支援、ご協力をお願いしたい。

第 1 号議案 第 54 期、第 55 期 活動報告（ ）は報告者名

千葉県連活動実績（野田理事長）＜議案書 p.3＞

野田理事長が、2 年間の千葉県連活動実績全般について議案書に基づき報告した。

各委員会活動報告

各委員会委員長が、第 54 期、55 期の委員会活動報告を議案書に基づき報告した。

- ①事務局活動報告（広木会長）＜議案書 p.4＞
- ②組織委員会（野田委員長）＜議案書 p.6、資料集 p.1～7＞
- ③教育遭難対策委員会（伊東委員長）＜議案書 p.7＞
- ④ハイキング委員会（田中委員長）＜議案書 p.8＞
- ⑤自然保護委員会（委員長不在により理事長が代行）＜議案書 p.9＞
- ⑥女性性委員会（広木会長）＜議案書 p.10＞
- ⑦機関紙委員会（広木会長）＜議案書 p.11＞
- ⑧海外委員会（安彦委員長）＜議案書 p.12＞

第2号議案 第55期 収支決算報告と会計監査報告

1. 収支決算報告（小林会計担当）＜議案書 p.13＞
 - ・収入：新特別基金還元金を予算時見込んでいなかったが従来通り県連会計に入金があったので予算対比増になった。他は予算通りであった。
 - ・支出：コロナ禍の影響で委員会活動が少なかった為、関連支出は予算より大幅に減少した。事務所のプリンターが故障で購入した。
2. 財産目録（資産内訳）（小林会計担当）＜議案書 p.14＞
 - 繰越金・積立金・の報告があった。
3. 会計監査報告（種蔵さん：松戸山の会）＜議案書 p.14＞
 - ・監査日 2021年02月05日
 - ・監査人 種蔵大介さん（松戸山の会）、廣谷明子さん（松戸山の会）
 - ・結果 公正かつ適正であることを認める。
 - ・要望事項 使用目的の無い積立金については一般会計に組み込むべきである。

＜質疑応答＞ 第1号議案、第2号議案について

- ・船橋勤労者山の会 橋本さんから以下の2件の質問があった。

質疑①：登山時報の無料配布について、全国連はどの様に進めているのか？

回答：全国連ではメディア局、機関誌委員会で検討を行っている。（野田理事長）

「登山時報は廃刊し、新たな機関誌、紙媒体での発行を検討する。
紙媒体と電子媒体で届けるようにする。」

添付資料：日本勤労者山岳連盟 第35回総会 議案書抜粋参照

質疑②：県連事務所のインターネット環境を知りたい。

W I F I が使用出来ればよいが…。

回答：事務所のパソコンでインターネット使用可能であるが、現在は無線での使用は出来ない。今後の検討事項である。（広木会長）

第3号議案 第56期、第57期 活動方針（案）説明 （ ）は説明者名

千葉県連活動方針案（野田理事長）＜議案書 p.15～17＞

第56期、第57期の千葉県連の活動方針（案）を、議案書に基づき説明した。

各委員会活動方針案

各委員会委員長が、第56期、第57期の委員会活動方針（案）を議案書に基づき説明した。

- ①事務局活動 （広木会長）＜議案書 p.18＞
- ②組織委員会 （野田委員長）＜議案書 p.20＞
- ③教育遭難対策委員会（伊東委員長）＜議案書 p.21＞
- ④自然保護委員会 （菅井委員長）＜議案書 p.22＞
- ⑤ハイキング委員会 （田中委員長）＜議案書 p.23＞
- ⑥女性委員会 （広木会長）＜議案書 p.24＞
- ⑦機関紙委員会 （広木会長）＜議案書 p.25＞
- ⑧海外委員会 （安彦委員長）＜議案書 p.26＞

- ⑨ホームページ部会（伊東春正さん：かがりび山の会）＜議案書 p.5、p.19＞
ホームページ部会は、54期・55期の活動報告と56期・57期の活動方針(案)を一括で行った。

第4号議案 第56期予算(案)説明（小林会計担当）＜議案書 p.27＞

- ・収入：会員数の減少が見込まれる為、会費が減少する。
しかし、前期繰越金が多いことにより総収入増額となる。
- ・支出：定常支出以外に、①関東ブロック主催行事、②50周年記念誌発行費、③山の日講演会経費、④房総の山復興プロジェクト経費などを見込む。
前期繰越金残額を40万円予備費に入れた。

＜質疑応答＞ 第3号議案と4号議案について

以下の2件の質問と1件の発言があった。

質疑①：他の会の会報についての企画を知りたい。県連で会報に関する情報交換をする場を持つことは可能か？（船橋勤労者山の会 橋本さん）

回答：県連の役割の一環として是非情報交換の場を持ちたい。各会の会報の発行形態についてZoom会議等を活用し情報交換の場を計画する。（広木会長）

質疑②：会員減、高齢化の問題等に対する加盟各会の活動の情報交流をスムーズに行うためのシステム造りを県連にお願いしたい。（かがりび山の会吉川さん）

回答：会への情報展開は県連の重要な役割と考えている。今年度から理事会にお願いして、各会間の情報交換の場を設けている。以前より会間情報が伝わりやすくなったと考えている。理事の方々は理事会において他の会が発言された情報を自会で展開して頂く事をお願いしたい。組織委員会においても各会の情報を収集しているので展開したいと考えている。（野田理事長）

意見：広木会長、野田理事長体制となり県連活動が見える化しているので県連の現状は十分理解している。協力できる事は協力する所存である。
しかし、会員減少傾向にある現状において当会も会員数維持に苦心している。このような状況下で県連から役が回ってくるが、対応できる余力が無い事も事実である。加盟各会の会員あつての県連である事を踏まえ、当会のおかれる現状についてご理解を頂きたい。（岳人あびこ 高橋さん）

第5号議案 第56期、第57期 役員選出 ＜議案書 p.28＞

役員選出について

議長から役員立候補者を求めるが立候補者無しの為、県連役員会から以下の提案があった。（野田理事長）

- ・顧問：古瀬健さん（千葉こまくさハイキングクラブ）退任
- ・他の役員は55期より留任

全国連盟理事及び労山基金運営委員の紹介（野田理事長）

全国連盟理事2名、労山基金運営委員1名の紹介がされた。

<第1号議案～第5号議案の採択>

議案の賛否は、3月12日（土）迄に各会より役員会宛のメール連絡によって行う。
賛成過半数を以て議案の可決とする。

結果は、3月17日（木）開催の理事会にて報告する。（野田理事長）

- ・総会議事終了 議長・書記解任

<連絡>

1. 全国連「積雪期登山事故防止の取り組みについて、緊急アピール！」について
（石川全国連理事）
 - ・積雪期登山については、緊急アピールの内容を各会で理解共有して事故を起こさない様にしてほしい
 - ・緊急アピールについては各会に昨日配信済み（野田理事長）
2. 房総の山復興プロジェクトについて（広木会長）
 - ・登山道復旧作業については、県内山岳3団体で分担して行う方向で進んでいる。
 - ・田中ハイキング委員長の経験を基に県連として活動方針を決めたいと考えている。
 - ・2022年8月11日「山の日」の『田中陽希講演会』について『ちばニュース』2月号と3月号に掲載済み。申し込み手続きなどを決定次第案内するので、参加したい会員が参加出来ない事のない様に対応していただきたい。

閉会の挨拶（野田理事長）

- ・活発な内容の濃い総会を開催出来た事に感謝します。今後とも県連の活動に協力を宜しくお願いします。
- ・今後オンラインによる会合は避けられないので、会合開催の改善を図りたいと考えている。

以上

第56期・57期がスタートしました。

オンラインでの総会は初めてでしたが、役員会、理事会が事前準備を万全にして実施出来ました。何より、この情勢下で総会を実施する事について、各会の理解と最大の協力をいただいた事が総会成功の大きな力になりました。

今、会運営で最大の問題である、会員減少や会員の高齢化について、会と県連盟が一体となって取り組む事が緊急の課題です。本来の総会は、これらについて現状報告や意見交換の場であります。しかし、オンラインでの実施でもあり、会と代議員の意見が十分に反映されたとは思えない面もあります。

会運営や県連盟活動についての厳しい意見や要望を県連盟へお寄せ下さい。
一緒になって考え行動して克服していきたいと思います。

——県連盟役員会——

千葉県連盟 2022年 2月 理事会報告

議事録作成者：吉武（かがりび山の会）

- ・日 時 2022年 2月17日（木）
- ・場 所 ZOOM 会議 19:00～21:00
- ・参加者：県連理事 君津ケルン山の会・かがりび山の会・岳人あびこ・ちば山の会
：こまくさハイキングクラブ・東葛山の会・船橋勤労者山の会・茂原道標山の会・山の会らんたん・千葉民医連山を歩こう会・山の会「岳樺クラブ」
：県連役員 広木会長・野田理事長・鶴田副理事長・小林会計担当・菅井自然保護委員長・伊東教遭委員長・安彦海外委員長・田中ハイキング委員長
- ・議 事
 1. 理事長挨拶（野田）

3月総会の準備を行っている。議案書の確認など各会の協力をお願いします。
 2. 役員会報告（広木）

2月2日（水）役員会議を行う。主に総会に向けての話と、次年度の役員について話し合った。
 3. 各委員会報告
 - 1) 教育遭難対策委員会（伊東）
 - ①事故報告
ちば山の会で47才（女性）が2月6日13時頃上州武尊山で雪庇を踏み抜き約200m滑落。（打撲、擦過傷、凍傷等、全治2週間）
 - ②1月24日 教遭委員会実施
4月2日予定の雪上技術講習会の検討（場所：谷川マチガ沢）
 - 2) 自然保護委員会（菅井）
 - ・各会より委員の選出をお願いします。
 - ・次年度、関東ブロック大会の為の体制を作りたい。
 - 3) 組織委員会（野田）
 - ・アンケート整理を実施
 - 4) 海外委員会（安彦）
 - ・2月10日（木）zoomによる海外委員会の開催
 4. 県連総会関連
 - 1) 県連総会日程（野田）

3月5日（土）13:00～16:00にオンラインによる総会を実施（zoom利用）

 - ・代議員27名全て登録をすます。
 - ・2月23日（水）と26日（土）の二日間、代議員対象のzoomアクセス確認テストを行う予定。
 - 2) 総会実施方法の確認（野田）
 - ①総会担当者の選任

司会：鶴田副理事長、議長：吉武理事、資格審査者：安彦海外委員長、
書記：戸石理事

②進め方

- ・議長の進行で進める。参加者の確認、総会成立の確認
- ・パソコン画面の共有機能を利用して進める、各担当者は4分以内にまとめて説明する。

3) 来年度役員の選出

- ・「こまくさ」：副会長を受けるのは難しい。
- ・「松戸山の会」：事務局長は受けられない。
- ・「岳人あびこ」：副会計を受けるかは少し待ってもらいたい。

4) 今後のスケジュール（野田）

- ・3月12日までに、各議案の賛成反対を会として検討し、決めたものを役員会まで提出願います。

5) その他

- ・総会は代議員の過半数を以て成立とする。
- ・オンライン総会の為、議長及び書記は各一名とする。
- ・議案を画面共有するかどうか、代議員に確認する。

6) 議案書 質疑回答

3会より13項目の質問がありました。

5. 全国連からの情報

第35回全国連総会の案内

2月19～20日、ホテルコンチネンタル府中にて行う。

6. その他協議・連絡事項

1) 議事録は要点を2ページ程度にまとめて作成する。

- ・原案作成後、理事、役員会に展開して確認する。
- ・千葉ニュースに掲載する為、月末の2～3日前には確定版を発行する。

2) 房総の山復興記念公演のお知らせ

- ・2022年8月11日（木）山の日の13:00～17:00からちば市民会館で田中陽希氏による公演会を実施する。（定員500人）
- ・各会で広報活動をして且つ宣伝してもらいたい。（広木）

3) 代議員選出、議決方法について

- ・会ごとの投票では会員数の多い会の票が軽く見られるとの意見もあるが、今総会の、代議員選出と議決方法は、理事会で決定した。
- 県連の重要事項の決定は理事会であり、その理事は各会からの代表である。
（鶴田）

以上

◆ 2月理事会報告が、遅れた事をお詫びします。

千葉県連盟 2022年 3月理事会報告

2022年3月18日 ちば山の会塚内作成

日 時 2022年3月17日(木) 19:00~21:00 ZOOM 会議

参加者 県連加盟各会理事、役員 (順不同)

理事：かがりび山の会、東葛山の会、岳人あびこ、山の会岳樺クラブ、船橋勤労者山の会、
まつど山翠会、ちば山の会2名、千葉こまくさハイキングクラブ、茂原道標山の会、
役員 広木(会長)、野田(理事長)、鶴田(副理事長)、伊東(教育遭難対策委員長)、
菅井(自然保護委員長)、安彦(海外委員長)、田中(ハイキング委員長)、
山本(全国連理事)
司会：野田、 書記：加藤・塚内理事(ちば山)、

議題

1. 理事長挨拶(野田)

1) 現況報告

千葉県の「まん防」も3月22日に解除される。ロシアのウクライナ侵攻の影響で我が国の経済にも影響が出始めている。先が見通せない状況だが我々は登山を楽しんで行きたい。

2) 定時総会の実施について

3月5日(土) 13:00~15:10 オンライン総会

参加者 代議員：24/27人、役員、理事：19/24人、計43/51人(参加者/予定者)
の参加により開催され無事終了した。

内 容 県連では初めてのオンライン総会となったが、関係各位による、事前準備、ご協力によりスムーズに議事進行することができた。質疑が少なかったこと、役員の立候補が無かったことが残念だったがこれは理事会で対応する。
関係各位、参加の皆様ありがとうございました。

2. 役員会報告(広木会長)

・3月2日(水) ZOOM 役員会実施 16:00~18:00

3月定時総会最終確認が主な協議事項。詳細は省く。

<会長コメント>総会は議案提案から賛否の議決まですべてオンラインで行われたが理事、代議員、会代表の協力に感謝する。代議員の定数、選出、議決権について意見があったが次回までに検討する。総会で質問があった事務所のネット環境、

WiFi についてはオーナーと話して対応する。各会の会報の情報交換はやっていきたい。会員数の低下、高齢化については委員会の内外で取り組んでいきたい。

3. 各委員会報告

1) 教育遭難対策委員会（伊東）

①事故報告

団体名：ちば山の会 日時：2月26日14時13分
場所：横手山 渋峠 事故者：62歳 女性
状況：山スキーで、悪雪にスキー板を取られてターンに失敗、右足首を捻挫。
傷病名：右足腓骨骨折

②2月28日 教遭委員会（オンライン）

- ・4月2日予定の雪上技術講習@マチガ沢の検討
3/27下見予定、参加申込の締切は3月18日だったが参加希望がまだ4名なので締め切りを3月25日に延ばす。内容は雪上歩行、ピッケルの使い方、滑落停止、ザイルワーク（ザイルワークは中級レベルか）。
- ・ホームページ部会が房総50座の山行報告をホームページに掲載した。
トップページの50周年記念をクリック、房総50座の「山行報告を表示する」をクリック、50座のリストが出る、山名をクリックすると該当ページに飛ぶ。

2) 自然保護委員会（菅井）

- ・関東ブロック自然保護交流集会 11月26～27日頃実施したい。
20名ぐらいの参加を見込む。泊まりはなし。
（野田さんより、場所の予約、計画書の作成などを早めに実施してほしい。他の交流集会との日程調整のため。）
- ・鶴田さんより、房総の山の復興状況をテーマに取り上げて欲しいと希望あり。
- ・クリーンハイクを急いで計画したい。

3) ハイキング委員会（田中）

- ・コロナのため、特に活動していない。

4) 組織委員会（野田）

- ・4月から活動開始の予定。

5) 女性委員会（広木）

- ・4月以降に活動する。

6) 海外委員会（安彦）

- ①『ちばニュース』の表紙用写真を募集している。海外登山・トレッキングの写真

- で 200 字ぐらいの説明をつけてほしい。
- 県連の海外登山の参加者からも応募を期待する。
- ②次回海外委員会の開催日程調整中（4 月か 5 月）

7) 機関紙委員会（広木）

- ・会報担当者の情報交換会を行いたい。
- ・ちばニュース発行以外の活動を検討する。

4. 千葉県連盟定時総会報告（野田理事長報告）

1) 各会よりの総会議案書に対する賛否の報告の結果）。

項 目	会数	備 考
賛 成	16 会	コメントはなかった。
反 対	0	

- ① 使用目的のない積立金は一般会計に組み入れるべきだという意見があった。登山時報の無料配布については新たな機関紙を紙媒体＋電子媒体で発行する計画あり。
 - ② 議決は参加会（16 会）の過半数の賛成を以って成立する。
 - ③ 賛否の報告は 3 月 12 日（土）までに役員会に届いたもの。
 - ④ 上記の結果を以って議案は承認された。
- 今後の検討事項は書面による質問書の提出の適否や議決の方法など。
- 2) 総会の詳細内容については、総会議事録を参照。
 - 3) 各会理事よりオンライン総会についての意見、感想など一言述べて欲しい。
（各理事のコメントはこの議事録の最終ページにまとめたのせました。）

5. 全国連からの情報展開（野田理事長）

- 1) 2 月 19-20 日に全国連総会が行われた。内容は「ちばニュース」3 月号を参照。特に登山時報の今後の扱い、基金制度の見直しがポイントとなる。決議決定集が発行され次第各会に周知する。
- 3 月 24 日の理事会でわかる（山本全国理事）。
- 2) 遭難対策部からの緊急アピールが届いた（3 月 4 日受領）。各会に配信済
「積雪期登山事故防止の取り組みについて」
今年 1 月～2 月に 4 人の死亡事故が発生した。これを受けて積雪期登山に対する取り組みについての緊急アピールです。

6. 各会理事からの活動状況報告は総会報告のため実施しなかった。（4 月より再開）

7. 全国連理事からの連絡・情報提供等

- ①石川 昌 理事（船橋勤労者山の会） 欠席。
- ②山本 尚徳 理事（かがりび山の会）
全国会長がウクライナについて声明を出した（理事長から県連役員会に紹介）

8. 房総の山復興プロジェクト（PJ）について（広木会長）

- 1) 現在千葉県山岳 3 団体で、今年の PJ の実施内容について協議中。田中さんが個人的に修復作業を行って来た。他の 2 団体では活動結果を写真やメモで行政に報告している。3 団体で実施山域の担当を決めて実施予定。

今後は野田さん、鶴田さん、安彦さん、田中さんも PJ に参加の予定。

- 2) 山の日記念公演について

2022 年 8 月 11 日（木）山の日 「田中陽希氏による講演」 13：00～17：00

千葉市民会館 入場料 1000 円（予定）、 ロナ対策で参加者 500 人

主催：千葉県山岳 3 団体

県連で 200 人程度参加者を確保したい。一般人が殺到する可能性もあるので早く予約をすすめてほしい。会ごとに人数を把握、参加者名簿をつくってほしい。各会の協力をお願いします。4 月の役員会で大枠を決め、4 月の理事会で提案する。

9. その他協議・連絡事項

委員会のメンバーリストは 4 月につくる。役員名簿も出す。

（安彦さんより）去年はズームの講演会を 4 回やった。今年は回数を絞る。

どういう内容がいいか、誰に講師になってもらいたいのか、早めに言ってほしい。

10. 0L 総会についての各理事のコメント

吉武さん：今回は意見がなくて寂しい。活発ではなかった。代議員が出てるのに、その 1 票がなくてあとで会から賛成が出る。今までの総会だと代議員が手を挙げるが、今回はその権利がなかった。（野田さん→質疑がもう少し出れば良かった、事前の質問がいいか悪いか？）

羽鳥さん：コロナ禍で初めてのオンライン総会。スムーズに進み、1 時間早く終わった。緊急事態の対応の試みが出来た。大勢が集まるのは大変なのでズーム会議に慣れるしかけをやった方がいい。（野田さん→平常時は対面が良いか？）ズームに変えていったほうがいい。議案書を各自でダウンロードすることに慣れてきた。

深草さん：議事録は自分の会の書式を使ったがよかったか？会議の流れはよかった。いろんなことでズームを使って慣れれば良くなる。（野田さん→決議の方法は）代議員がその場で挙手するのがよい。

酒井さん：ズームは大変良かった。今後もズームで総会はありだ。うちの会は会員数が 60 人台からへっており、30 人台になるので、役員の兼任が多いので時間に余

裕がない。議決のやりかたはあれでよかった。

加藤さん：これからはズームが増えていく。ズームでやったのは良かった（野田さん→会の方からの意見は？）千葉の南の方の人はわざわざ出てくるのが大変だ。

海瀬さん：議案書は事前にホームページにのせて会員に読んでもらった。質問、意見は特になかった。代議員は2名出席した、議決はその場で取ればいい。忙しい中、電車に乗るのは大変なのでズームは良い。（野田さん→参加率がアップするか？今回は1～2名に限定した、いつもなら代議員5～10人の会もある。）会員が多いから多く出る必要はない、問題ない、事前に合意がとれている。

田中さん：ふわくから2名出たが感激していた。HさんのPCが直前にフリーズした。私のPCはウィルスが入った。人数増やすとPCが完璧じゃないとズームに出られない。1人が2台持っていれば無難か。賛否はあとからでも、その場でもどちらでもいい。ズームは忙しい人には助かった。（野田→ウィルスには注意しましょう。）

今井さん：議案書など資料を沢山もらったが、揃えるのは大変だろう。平常時でもオンライン会議が良い。議決もその場で承認が良い。（野田→会員数によっては代議員が10人になる会もあるが）小さい会は会で1票。大きい会が多い方がいいだろう。私は今回の形が良い。（野田→今回は代議員が27人だったが、3倍になると90人近くになる。運用上の問題が出てくる。クリアできればいいが。）

小林さん：はじめての取り組みだがうまく行った。資料も各自で用意した、メールで資料が来るのはスムーズだ。だがこれだけで総会はいいいのか？年に1回ぐらい顔を合わせるのも大事。効率に含まれない良さも大事だ。（野田→自分で50枚印刷するのは負担にならないか。）県連として1部か2部は書面で残すと良い。代議員は印刷が負担だった。

荒井さん：2年前は集まりもズームも無かった。今回はズームだが、良かった。資料の印刷はインクを使うのでお金がかかる。会に1部ぐらいくれないか？代議員は大きな会だと2名だが、即決だと責任が重い。すべて任せているのか。うちもズームで例会をやっている。理事会も集まる必要がなければズームでやってもいいのかな。（野田→時には対面で、も考えたい。代議員の責任が重いというのは、役割を持ってきてきているので当然だ。印刷の負担はこちらで1部印刷するのはありかも。）

羽鳥さん：代議員の2名選出だが、出たい人がいないので東葛山の会では苦労した。ズー

ムなら出やすい、効率良く完了する。（野田→安彦さんが事前にズームのトレーニングをやった。）

鶴田さん：総会の議事運営はスムーズだった。可能な限りオンラインで続ければ良い。オンラインのネックは参加する人のネット環境。お金と意欲が必要。充実させてほしい。会がサポートして行けばいい。

また吉武さんの「意見が少なくてさびしかった。活発ではなかった。」というご指摘は重要だと思う。

意見が少なかったのはオンラインだからではない。

なぜ意見が少なかったのか皆が考えることだと思う。

広木さん：代議員の数を１～２名にしたのはオンラインを考慮したから。議決を後日してもらうのは、オンラインでは十分な討議が出来ないので会に持ち帰り、会で討議して議決する。会として参加してもらう事が大きなねらい。

以 上

2022 登山講習の案内

県連教育遭難対策委員会

教遭委員会では自立する登山者のための実技講習を活動方針として掲げています。
今回、岩稜地帯の歩き方を計画しましたので、各会よりの積極的な参加を望みます。

記

- 1) 日程：6月4日（土）
- 2) 場所：栃木県宇都宮市 古賀志山
- 3) 集合：南口登山口駐車場 9時集合
- 4) 実技：9時15分～15時
岩稜地帯の通過に必要なスキル習得
身を守るロープワーク（7点セット使用）
- 5) 実施規模：15名程度
- 6) 個人装備：雨具 ストック 行動食 県連7点セット＊
＊＜スリング長1 短2 補助ロープ10m カラビナ2 環付カラビナ1＞
シルバコンパス
- 7) 参加費：無料
- 8) 申し込み：各会理事より 5月27日までに教遭委員会 伊東へ
＜itou2385@yahoo.co.jp＞ 申込書は別途送付。
- 9) 雨天の場合は中止。



労山定時総会に参加して 【ZOOM 利用によるオンライン総会】

ふわくハイキングサークル 鈴木 菊枝

2月中旬、ふわく担当理事の田中さんから「労山総会に出てくれない（代議員）」の連絡と同時にメールにて総会資料が添付されてきました。ZOOM 利用でオンライン総会を行う…と言う。

ZOOM の会議は、毎日のようにテレビでよく見聞きしているが、まさか自分がやるなんて…。「できない…」と思っていました。スマホのラインで友人とおしゃべりは時々していましたが1対1。話の終わりは「お互い様だけれど、自分の顔見るの、もう嫌だね」でした。

2月23日（水）と26日（土）に、オンライン（ZOOM）が初めての人を対象とした練習が開かれました。【ZOOM ミーティング参加方法】の詳細が、東葛山の会の安彦さんから添付されてきました。PCからの安彦さんの声を聴きながら、PCの画面とにらめっこ。なんとかクリアできたかな…。

総会に参加するにあたって事前に用意された資料を全部プリントしました。両面印刷、総数60数枚。今まで労山の総会に2、3回参加しているが、資料を手渡しされても数ページ読んだだけだったような気がする。今回はオンライン総会、各サークルから1～2人の参加。一通り目を通し、ふわく理事担当箇所や興味がある数か所の活動報告や活動方針のところは念入りに読んだ。また、他の会から、どんな質問が出るのか興味がありました。

3月5日（土）の総会は開始時間の2分前にアクセスした。総会開始午後1時には代議員全員がPC画面に映し出された。代議員24名、全国理事1名、県連の役員・理事等総数40数名。代議員はPC画面上部に5人映し出され、◀ ▶をクリックすると全員の顔が見られる。会長・議長・報告者・発言者の顔が、発表されるごとにアップで映し出される（注：スピーカービューの場合）。

アップされた発言者の顔を見ていると、自分に話しかけられているようで真剣に耳を傾けた。各代議員の顔も、どんな反応を示すのかチラホラ覗きました。水分を摂るときは少し席を外して…。

コロナ禍の生活も3年目に突入。千葉労山も役員会・理事会等活動があまり出来なかった…という。また、会員の高齢化・人手不足など様々な要因が重なり、活動全般が低空飛行気味かな…。特に「機関紙委員会」「女性委員会」「ハイキング委員会」は、これまで以上に頑張ってもらいたい。労山活動に積極的に加わる一步かな…と思う。「ふわくハイキングサークルも似ているな～」と、報告者や発言者の言葉に「うん、うん」と納得。初めてのオンライン総会、有意義だった。いい経験をさせていただきました。

このオンライン総会を準備していただいた県連の役員や理事の方々、本当にご苦労様でし

た。

最後に、私を含めて各サークルの発言が少なかったことが残念に思いました。

<感想紹介>（敬称省略）

他の代議員の皆さんからもメールで感想などが届きましたので、紹介します。

1) 豊田幸長（山の会らんたん）

始めまして。昨日はオンライン定時総会に出席させて頂き有難う御座いました。貴殿の大変なご苦勞の甲斐あって大成功だったと思います。

コロナ禍で会えない子供・孫たちや、学生時代のクラス会をオンラインでやっていますが、今回の様に大人数（25 画面）では初めての経験でした。でも上手くいきましたね。安彦様のご努力の成果です。本当にありがとうございました。

提案ですが、アフターコロナになっても出来るだけオンラインでの開催をお願いしたいと思います。ありがとうございました。

2) 高橋芳恵（岳人あびこ）

昨日は総会お疲れ様でした。オンラインを使つての有意義な会議でした。安彦さんのお力で成功裡に終えられ、途中資料を共有できたことで分かりやすかったです。今後ともよろしくご指導ください。

3) 鈴木菊枝（ふわくハイキングサークル）

労山総会ご苦勞様でした。「オンライン総会に参加して」の感想を書いてみました。恥ずかしいような文章です。余分なところは削除してください。

オンライン総会中、各サークルの代議員のお名前を数人覚ええました。私にとっては有意義な総会でした。いろいろありがとうございました。

4) 澤地光一（松戸山の会）

総会本当にお疲れ様でした。コロナ禍では、オンラインでの総会は仕方なかったと思います。良く言えば、総会に出向く必要がなく、また、悪く言えば、お会いしての交流が出来なかった…ことだと思います。

オンラインの仕方も皆さん覚えてでしょうし、コロナ禍でなくてもオンラインは検討しても良いかと思います。

また、8月に行う記念講演会には参加したいと思います。

房総の山復興 山の日記念講演会

2022年
8月11日(木)

13:20～17:00 (開場13:20)

会場 千葉市民会館
千葉市中央区要町1-1

定員 約500名

入場料 1,000円

田中陽希

たなかようき
プロアドベンチャーレーサー
Team EASTWIND所属



- 1 QRコードを読み込み、商品ページからチケットをご購入下さい。
- 2 ご注文を確認しましたら自動メールの他に「チケットナンバー」をメールにてお知らせいたします。
- 3 そのメールをプリントアウトするかスマホ等で確認できるようにしておいてください。
- 4 当日受付でその「チケットナンバー」をお伝えください。

房総の山復興プロジェクト

一般社団法人千葉県山岳・スポーツクライミング協会

千葉県勤労者山岳連盟

公益社団法人日本山岳会千葉支部

詳細問合せは：

千葉県勤労者山岳連盟ホームページ

県連予定表

5月			4月		
日付	曜日	県連行事予定	日付	曜日	県連行事予定
1	日		1	金	
2	月		2	土	雪上技術講習
3	火		3	日	
4	水	役員会（ZOOM）	4	月	
5	木		5	火	
6	金		6	水	役員会（ZOOM）
7	土		7	木	
8	日		8	金	
9	月		9	土	
10	火		10	日	
11	水		11	月	
12	木		12	火	
13	金		13	水	
14	土		14	木	
15	日		15	金	
16	月		16	土	
17	火		17	日	
18	水		18	月	
19	木	理事会	19	火	
20	金		20	水	
21	土		21	木	理事会
22	日		22	金	
23	月	教遭委員会（ZOOM）	23	土	
24	火		24	日	
25	水		25	月	教遭委員会
26	木		26	火	
27	金		27	水	
28	土		28	木	
29	日		29	金	
30	月		30	土	
31	火				

事故発生時の連絡先

◎事故一報は事故発生後一か月以内に！

◎全国連盟と県連教育遭難対策委員会の両方にメールまたはファクスで！

全国連盟事務局

メール： jwaf@jwaf.jp

ファクス： 03-3235-4324

県連教育遭難対策委員会

メール： itou2385@yahoo.co.jp（伊東）

メールのみとします

連盟費の振込先はこちら！

郵便振替口座 00160-3-481509

千葉県勤労者山岳連盟

（ゆうちょ銀行 〇一九店 口座番号0481509）

発行者： 千葉県勤労者山岳連盟

発行責任者： 広木国昭

住所： 〒261-0013 千葉市花見川区幕張本郷 1-29-18 レジデンス幕張台 101号室

電話： 043-306-1190

E-mail： rousanchiba@grape.plala.or.jp

HP： <https://www.cwaf.jp>